

〔履歴書の記入について〕

1) 年齢・本籍地の項目の記入について

- ① 年齢は、書類作成時点の満年齢を記入してください。
- ② 本籍地の記入にあたっては、日本国籍の方は都道府県名のみを、外国籍の方は国名を記入してください。

2) 学歴の項目の記入について

- ① 大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する方は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の方は最終学歴について記入してください。
なお、記入にあたっては卒業証書、修了証書等を確認し、大学の学部、学科、課程、専攻、コースならびに大学院研究科の課程、専攻、コースおよび学位の種類について正確に記入してください。
- ② 中途退学であっても省略せず、記入してください。
- ③ 博士課程を終えた時点で博士号を取得していない場合の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
- ④ 外国での取得学歴については、原語を併記し正確に記入してください。
- ⑤ 学生としての外国留学については、学歴欄に記入してください。
- ⑥ 大学の別科、専攻科については学歴欄に記入してください。

【例】

年 月	事 項
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 修士課程修了（〇〇学修士）
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士課程単位取得満期退学
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学で博士の学位授与（経博乙第〇号） ※学位欄は（経済学博士 〇〇大学）

新制度の学位規則（平成3年7月1日施行）により、学位名を記載してください。

※注1：博士後期課程の修了（又は学位規則の年限内）に、同大学院で博士学位を授与された場合の例（課程博士）

事 項
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士後期課程修了 博士の学位授与（経博甲第〇号） ※学位欄は「博士（経済学） 〇〇大学」

※注2：修士年限未滿で退学した場合の例

事 項
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 〇〇課程中途退学

※注3：旧制大学院の場合

事 由
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修了（旧制）

3) 職歴の項目の記入について

- ① 職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。なお、各職歴については、始期および終期が明確になるように記入し、現職については、必ず「現在に至る」と明記してください。
- ② 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合は、職歴欄に審査の年月、当該教員組織審査に係る大学名、学部名は大学院研究科名、職名（専任、兼任、兼任の別）および担当授業科目名（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入してください。
- ③ 担当科目に直接関係ある職歴については、職名・地位等できる限り具体的に記入してください。
- ④ 大学院の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
- ⑤ 研究者としての外国留学については、職歴欄に記入してください。
- ⑥ 研究生、副手、聴講生などは、職歴欄に記入してください。非常勤の経歴については、適宜ご記入ください。

【例】

年 月	事 項
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部副手
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部助手
平成〇〇年〇〇月	同 大学退職
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇研究所嘱託研究員
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇大学助教授 (〇〇原論担当)
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	同 大学教授 (〇〇原論・前期、〇〇学史・後期担当)
平成〇〇年〇〇月～	〇〇大学〇〇学部教授 (〇〇学担当)、大学院〇〇研究科〇〇専攻 (〇〇論担当) (現在に至る)
平成〇〇年〇〇月	西ドイツ〇〇大学留学 (1年間)
平成〇〇年〇〇月～	〇〇大学〇〇学部非常勤講師 (〇〇論担当) (現在に至る)
平成〇〇年〇〇月～	〇〇研究科・科長 (現在に至る)

4) 学会および社会における活動等の項目の記入について

- ① 専攻・研究分野等に関連した事項についてのみ記入してください。
- ② 所属学会・協会は、正確に記入してください。
- ③ 大学教員の方は、所属する大学の委員は除いて、記入例を参照のうえ、公的な審議会、委員会、懇談会等の主たる委員会委員について記入してください。

【例】

年 月	事 項
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇記念会理事
平成〇〇年〇〇月～	〇〇学会会員 (現在に至る)
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇学会理事・評議員
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇協会〇〇審議会審査委員長
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	〇〇学会〇〇部会〇〇委員長
平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月	東京都〇〇審議会委員

5) 賞罰の項目の記入について

【例】

平成〇〇年〇〇月	〇〇学会賞 (〇〇特別賞) 受賞「〇〇〇〇〇〇〇〇研究の業績」
平成〇〇年〇〇月	第10回〇〇協会論文賞受賞「〇〇〇〇〇〇〇〇〇」
	罰なし (賞罰共になし)

〔教育研究業績書の記入について〕

1) 著書・学術論文等の名称欄の記入について

- ① 研究業績は、過去10年間のものを中心に、「著書」、「学術論文」および「その他」(翻訳、(教科書)、(学会発表)、(その他))に区別のうえ、その主要なものについてそれぞれ別紙に、当該の小見出しを記入するとともに、その区分ごとに発行年月日の新しいものから順に番号を付して記入してください。
- ② 業績が多数にわたる場合には、今回の担当授業科目に関する業績数点に限定してください。
- ③ 学会誌等に発表した場合には、その名称と併せて、巻・号・頁についても記入してください。
- ④ 記入年および翌年に発表または発刊が予定されているものについては、その旨を明記し、出版証明書を添付してください。なお、いわゆる投稿予定のものは含みません。
- ⑤ 以上の記入に際しては、自己の研究分野および今回ご担当いただく授業科目に関連して、主要なものについては、左端欄外に「主」と記入してください。
- ⑥ 教育研究業績書に記入した著書等のうち、最近のもの、ないし主要なもの1～2編について、その「概要」を別紙の所定用紙に200字程度で記入してください。その記入要領は「概要」の項をご参照ください。

2) 単著・共著の別欄の記入について

著書・学術論文等の区分に応じて、その用語を次のとおり統一定義します。この区分にしたがって記入してください。

- ① 「著書」および「学術論文」については、「単著」か「共著」のいずれかとします。監修、単編者、共訳者等については、別紙の概要記入用紙に明記してください。
- ② 「翻訳」については、「単独」か「共訳」のいずれかとします。
- ③ 「学会発表」については、「単独」か「共同」のいずれかとします。
- ④ 「書評、教科書、上記以外の業績」については、「単著」「単独」か「共訳」「共同」のいずれかとします。

3) 発行所、発行雑誌等または発表学会等の名称欄の記入について

- ① 「学術論文(学位論文を除く)」および学術雑誌等に発表された「翻訳」の場合は、当該の発表雑誌等の誌名のほか、発行年月、巻・号・頁まで必ず記入してください。
- ② 「学位論文」については、学位を授与された大学名を記入してください。
- ③ 「学会発表」の場合は、学会名および大会名、開催場所等を次のように記入してください。
※○○学会第○○回大会 (於 ○○大学)

〔記入例〕

1) 「著書」について

「著書」については、一冊の本を単独で執筆した場合だけでなく、二人以上で執筆した場合も、担当執筆頁数の多寡にかかわらず「著書」として記入してください。この場合、当該部分は単著であっても共著としてください。担当執筆部分の名称は「概要」に記入してください。なお、その本がシリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の一冊である場合は、表題の下欄に()書きで、シリーズ名および当該の巻数を付記してください。実際の記入例を次に示します。

また、その本が論文集のような場合、ご本人の判断により、学術論文の項に分類・記入して下さっても結構です。

【著書記入例】

教育研究業績書				
平成25年7月1日				
氏名 若木 太郎 ㊞				
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所・発表論文等または発表学会等の名称	概要
[著書] ①○○○○○○○ ②○○○○○○○ ③○○○-○○○○○-	単著 共著 共著	平成○年○月 平成○年○月 平成○年○月	○○社 ○○社 ○○○社	※概要は別紙に記入してください

番号を付記

発行年月日の新しいものから順に記入

共同執筆者がある場合、全氏名を当該著書に記載した順に記す。ただし、辞典の場合は代表者名(監修者名、責任編集者名のみ記載)

2) 「学術論文」について

「学術論文」については、論文集、学会雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に「学術論文」として発表したものを原則として記入してください。

学位論文が単行本として刊行されているものであっても、「著書」の区分には入れず、必ず「学術論文」の区分に入れ、当該論文の題名の下段に(博士論文)または(修士論文)と明記してください。

【学術論文記入例】

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所・発表論文等または発表学会等の名称	概要
[学術論文] ①○○○○○○○について (博士論文) ②○○○○○○○○の研究 ③○○○-○○○- ④○○○○○○○ ⑤○○○○○○○	単著 共著 共著 単著 単著	平成 25 年 3 月 平成 24 年 7 月 平成年○月 平成○年○月 平成○年○月	○○社 ○○○学会 学術講演○○集 ○○研究所報 Vol.1 ○○大学学位論文 ○○大学○○雑誌 (紀要)	※概要は別紙に記入してください。 共同執筆者:本人の氏名を含め全氏名を当該学術論文に記載された順に記入してください。 担当部分:P○○~P○○ ※本人担当部分を明確にできない場合は「共同研究につき担当部分抽出不可能」を記入してください。

番号を付記

発行年月日の新しいものから順に記入

3) 「その他の業績」について

- ① 「翻訳」については、学術的に価値ある「翻訳」についてのみ記入してください。なお、その「名称」欄には、まず原著者または編集者名をカタカナで表記し、次行に邦訳の表題を記入してください。原著名の記入を要する場合は、「備考」欄に記入してください。
- ② 「学会発表」については、学会（国際・全国レベル）における口頭発表および要旨発表等を記入してください。
- ③ 上記以外の業績については、「書評」、「資料紹介」、「学会情報」、「解題」、「調査報告」、「研究情報」等および芸術分野における制作、展覧会出品、個展等について、それぞれ記入してください。

【その他の業績記入例】

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所・発表論文等または発表学会等の名称	概要
[翻訳] ①□□□□□□□□□□ ○○○○○○ ②□□□□□□□□ ○○○○○○ [学会発表] ①○○○-○○○- ②○○○○○○○ [書評] ①○○○-○○○- [制作] ①○○○○○○○ ②○○○○○○○	単独 共同 単独 共同 共同 単独 共同	平成 25 年 4 月 平成 23 年 2 月 平成 24 年 10 月 平成 23 年 11 月	○○学会○○大会 (於 ○○大学) ○○学会○○大会 (於 ○○大学)	※概要は別紙に記入してください。

4) 「研究業績書」他、用紙が足りない場合は、恐縮ですが用紙を必要分コピーしてご記入ください。

5) 作成した書類は、校正等の必要もありますので、念のため一部複写し、お手元に保管いただければ幸いです。

〔教育研究業績の「概要」の記入について〕

【記入例】

著書・学術論文等の別	著書等の区分を記入 (区分ごとに用紙を分けて ください)	氏名
著書・学術論文等の名称	教育研究業績書の「概要」欄の原稿用紙 (200 字程度)	
①○○○○○○○ (単著)	○○学の体系的な概説書である。○○○について分析・解明し、○○に理念付け、体系化したものを……………	
教育研究業績書の番号と一致する	……………について論述した。	

②○○○○○○○	○○○についての研究である。……………	
教育研究業績書の番号と一致する	……………について論述したもの。 B5 版、全 332 頁中、担当：「○○○の分析」(250～280 頁) 共著者：○○ ○○、○○ ○○○、若木 太郎、○○ ○○。	
	※共著者名は執筆順に記入してください。	

③○○○○○○○	○○○についての実験研究発表である。……………	
教育研究業績書の番号と一致する	……………に及ぼす影響を明らかにした。 (平成○年度科学研究費○○研究) A4 版、全文 160 頁、共著者：若木 太郎、○○ ○○○○ ○○、○○ ○○○。共同実験研究につき、本人担当部分抽出不可能。	

※本人が研究指導責任者、編集責任者等になった場合は、その旨を本人の氏名の後に () 書きで記入してください。新聞発表の場合は、総字数を、テレビ、ラジオの場合は総時間数を記入してください。

「概要」の記入については、ご記入いただいた概要そのものが、教員審査実施の際の主要資料として扱われますので、次の点に特にご注意ください。

- ① 所定の用紙に、教育研究業績書に記入した番号と著書等の名称を付して、一点ごとに 200 字程度で記入してください。回数に関しては、担当される授業科目および講義の内容との関連を十分ご考慮いただき、200 字にできるかぎり近づけてご記入ください。
- ② 共著の場合は、自己の担当部分を明記し、著作者全員 (本人の氏名を含む) の氏名を、当該の著書や学術論文等へ発表した順に記入してください。この場合の「単著・共著の別」については「共」と記入し、自己の執筆部分がどのページであるかを記入してください。また、自己の担当部分を明確に特定できない場合は、その理由を明記してください。